

獨協大学国際教養学部言語文化学科所属 専任教員2013年度研究業績一覧

(2013年4月～2014年3月までに一般に公開された各専任教員の研究業績の一覧)

浅山 佳郎

論文 (単著)

- ・「名詞述語文と形容動詞述語文における「ガ」名詞句」『獨協大学日本語教育紀要』9号, 獨協大学大学院外国語学研究所, pp.41-53, 2014年3月

東 孝博

論文 (単著)

- ・“Stationary Soliton Solutions with Complex Pole Trajectories to Einstein Equations”『Mathesis Universalis』Vol.15, No.1, Department of Interdisciplinary Studies, Faculty of International Liberal Arts, Dokkyo University, pp1-14, November 2013

浦部 浩之

論文 (単著)

- ・「ラテンアメリカにおける対米自立的な地域統合の展開—ALBA、UNASUR 構築プロセスの現状と課題—」『マテシス・ユニヴェルサリス』第15巻第1号, 獨協大学国際教養学部言語文化学科, 15～36頁, 2013年11月

岡村 圭子

著書

- ・「団地のネットワークとローカル情報—東日本大震災後の草加松原団地を事例に」雨宮昭一・福永文夫・獨協大学地域総合研究所編『ポスト・ベッドタウンシステムの研究』丸善プラネット, 2013年3月

レポート

- ・「雨宮昭一教授に聞く—ご退職にあたって」獨協大学地域総合研究所『地域総合研究』第7号, 2014年3月

その他

- ・ デュースブルク＝エッセン大学 派遣交換教員, 2013年4月～9月
- ・ 研究報告「ドイツにおけるローカル・コミュニティの諸相」(獨協大学地域総合研究所定例研究会, 2013年10月23日)
- ・ インタビュー記事「きょういくトーク埼玉: 団地コミュニティ健在」『朝日新聞(埼玉版)』朝刊, 2013年10月29日

川村 肇

著書

- ・ 「生活指導とは何か」高橋陽一・伊藤毅編著『新しい生活指導と進路指導』武蔵野美術大学出版部, 11～65頁, 2013年4月

金 秀晶

口頭発表

- ・ 「現代韓国女性語と韓国語教育」第22回中・韓文化関係国際学術会、台湾国立政治大学, 台湾, 2013年12月14日
- ・ 「韓国語のオノマトペ教育について」第7回言語・文学・文化学術大会, 延世大学国語国文学科BK21 プラス事業団, 延世大学、韓国、2014年2月17日

講演

- ・ 「日本における韓国語教育について」高麗サイバー大学、韓国、2013年12月4日

佐藤 勸治

論文

- ・ 「20世紀転換期米メキシコ国境地域の『曖昧な領域』性: モルモン教徒メキシコ移住とピリャ懲罰遠征隊」『境界研究』(北海道大学スラブ研究センター)第4号, 2013年11月, 1～14頁
- 学会シンポジウム論題趣旨説明(コーディネータ)
- ・ 「ラテンアメリカ研究の射程」『日本ラテンアメリカ学会第34回定期大会報告要旨』56～57頁, 2013年6月(獨協大学)

田口 雅徳

論文（単著）

- ・「顔文字の付与および文頭・文末の小文字化がメール文の印象評定に与える影響：お礼文、挨拶文、依頼文を用いての分析」『情報学研究』第3号，獨協大学情報学研究所，105～111頁，2014年1月
- ・「第二言語としての日本語の学習が学習者の描線動作に与える影響：日本人大学生と交換留学生を対象とした予備研究」『獨協大学日本語教育紀要』第9号，獨協大学大学院外国語学研究所，32～40頁，2014年3月
- ・「学生相談機関イメージ尺度による大学生の類型化および来談意思の群間比較」『カウンセリング・センター年報』第34号，獨協大学カウンセリング・センター，8～17頁，2014年6月

口頭発表

- ・「図形の一筆描き課題における幼児の描線動作の発達的特徴：日本の右利き4-5歳児と大学生の比較による検討」日本心理学会第77回大会，北海道医療大，2014年9月19日～21日

永田 小絵

翻訳

- ・『中国再考 その領域・民族・文化』岩波現代文庫，2014年2月14日発行

研究ノート

- ・「外国語学習者から翻訳者へ」『マテシス・ユニヴェルサリス』第15巻第2号，獨協大学国際教養学部言語文化学科，169～187頁，2014年3月

その他の社会活動

- ・三井住友信託銀行不動産投資セミナー in台湾（同時通訳），2013/5/15-16
- ・台湾専利検索中心（特許検索センター）の日本特許庁・JAPIO・INPITなど関連団体訪問、レクチャーおよび意見交換会（逐次通訳），2013/7/29-31
- ・交流協会第6回日台産業協力架け橋プロジェクト交流会議（逐次通訳），2013/10/18
- ・ホンダ技研狭山工場 中国3C審査（逐次・同時通訳），2014/2/24-26
- ・日本政治総合研究所主催 シンポジウム「インターネット・市民社会・ガバ

ナンス」(逐次通訳), 2014/3/18-19

- ・ 本田技術研究所栃木研究所 中国メディア向け安全技術説明会 (同時・逐次通訳), 2014/3/28
- ・ CPhI Japan (国際医薬品・中間体展) 化学工業日報社主催 (同時通訳), 2014/4/10
- ・ 本間ゴルフ取締役会 (同時通訳), 2014/6/5

野澤 聡

論文

- ・ 「「二つの文化」を超えて—科学史の視点から」『アステイオン』78号, 2013年5月, 95~109頁

共著書

- ・ 「技術と経済を重視するアメリカグリーン・イノベーション政策とワックスマン・マーキー法案に見る地球温暖化問題への取り組み」, 橋爪大三郎 (編) 『邁進する世界のグリーン革命—地球温暖化を越え、持続可能な発展を目指す具体的アクション』ポット出版, 2013年5月

学会発表など

- ・ 「18世紀前半の力学における二つの研究伝統の合流」日本科学史学会第60回年会, 日本大学商学部, 2013年5月25日
- ・ 「日本の科学技術政策の転換とイノベーションのリニア・モデル」科学技術社会論学会第12回年次研究大会 (ワークショップ「STSの論点—いま何が問題か」), 東京工業大学, 2013年11月17日
- ・ “The Importance of STS in the History of Science: A Case Study in the History of Mechanics,” 11th EASTS Network Meeting, Tokyo Institute of Technology, 2013年11月15日

松丸 壽雄

著書 (共著)

- ・ ‚Tanabe und Heidegger Fragendes Kreisen um den Tod‘, „Heidegger Jahrbuch 7, Heidegger und das ostasiatische Denken“ Herausgegeben von Alfred Denker, Shunsuke Kadowaki, Ryôsuke Ôhashi, Georg Stenger und

Holger Zaborowski, Verlag Karl Alber, P. 267-282, 2013.8

- ・Nishidas Philosophie und Dialektik', „Kitarō Nishida in der Philosophie des 20. Jahrhunderts“, Herausgegeben von Rolf Elberfeld und Yōko Arisaka, Verlag Karl Alber, P. 74-98, 2014.3

講演

- ・Zen Budismo e a Filosofia da Escola de Kyoto', I Colóquio Internacional de Filosofia Comparada: Budismo e Filosofia, Universidade Federal de São Paulo, 2013.11
- ・Zen Budismo e Filosofia da Escola de Kyoto', I Colóquio Internacional de Filosofia Comparada: Budismo e Filosofia, Universidade Estadual de Campinas, 2013.11

山本 英政

論文

- ・「ジラード事件」追考①—相馬ヶ原で弾を拾う—『マテシス・ウニウエルサリス』第15巻第1号，獨協大学国際教養学部言語文化学科，一～二二頁，2013年11月
- ・「ジラード事件」追考②—米兵を立件する—『マテシス・ウニウエルサリス』第15巻第2号，獨協大学国際教養学部言語文化学科，一～二二頁，2014年3月

研究発表

- ・「アメリカにおもねる日本、かぶれる若者—オーミステイク事件を取り上げて—」20世紀メディア研究所（早稲田大学），2013年11月9日